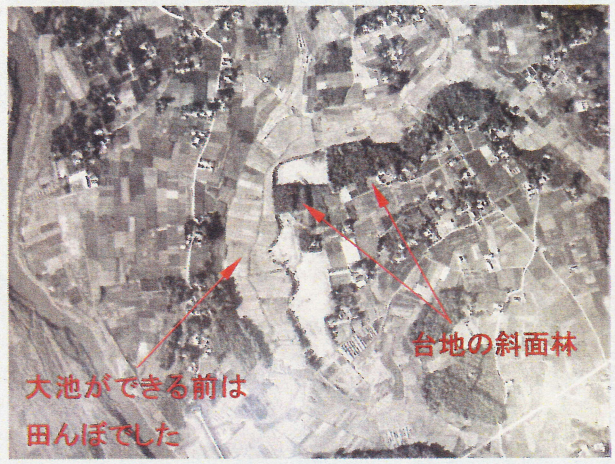
コラム１　上尾丸山公園の個性を生かした公園づくりの方向性について

▼荒川の中流域に位置する上尾市西部は、大宮台地から荒川の低地に下る起伏に富んだ地形で、樹林や農地、湿地などの多様な自然環境で形成されています。こうした環境は在来の生き物（以下、在来種）にとっても貴重な生息地であり、希少なサクラソウなどが確認されています。

▼この地域にある上尾丸山公園は昭和５３年（１９７８年）５月に「水と緑の調和」をテーマに開園しました。公園内の大池は、台地の斜面地の湧水とポンプで汲み上げた地下水が流れ込み、その水は公園の西側の水路を経て荒川へ流れています。公園の西側にはハンノキやヨシなどの湿地が広がっており、大宮台地に面した斜面林も残されています。

▼こうした園内にある自然を守り、在来種の生育に配慮した維持管理を行うことで、上尾丸山公園は美しい水辺の景観と多くの野生生物に出会える公園になる可能性が高いと考えられます。その景観や野生生物たちは地域の新たなシンボルとして、市民の皆様に親しまれ、次世代に引き継がれる大切な存在になると考えられるため、市では同公園の自然再生に取り組んでいます。



公園の造成時の航空写真

上尾丸山公園内の大池と台地の斜面林

質問１－１　コラム１に示した公園づくりの方向性をどう思いますか。

①とても賛成　②やや賛成　③どちらでもない　④やや反対　⑤反対

質問１－２　上尾丸山公園の自然再生と在来種の生育に配慮した管理と利用の方向性について、あなたの意見に最も近いものを１つ選んでください。

①自然再生と在来種の保全は非常に重要である。自然や野生生物と距離を取り、それらを静かに見守ることを優先したうえで、自然に影響する行動は極力さけて公園を利用したい。

②自然再生と在来種の保全は重要である。しかし、ある程度それらの自然や野生生物に近づき、ふれあいながら公園を利用したい。

③自然再生と在来種の保全ができればよいが、自然にあまり興味がないので、自然に関係しない施設も充実してほしい。

（例えば、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に関する施設）

④自然再生と在来種の保全は必要ない。自然に関係のない公園利用を楽しみたい。

⑤わからない